

鹿児島 ROCK NEWS No.3

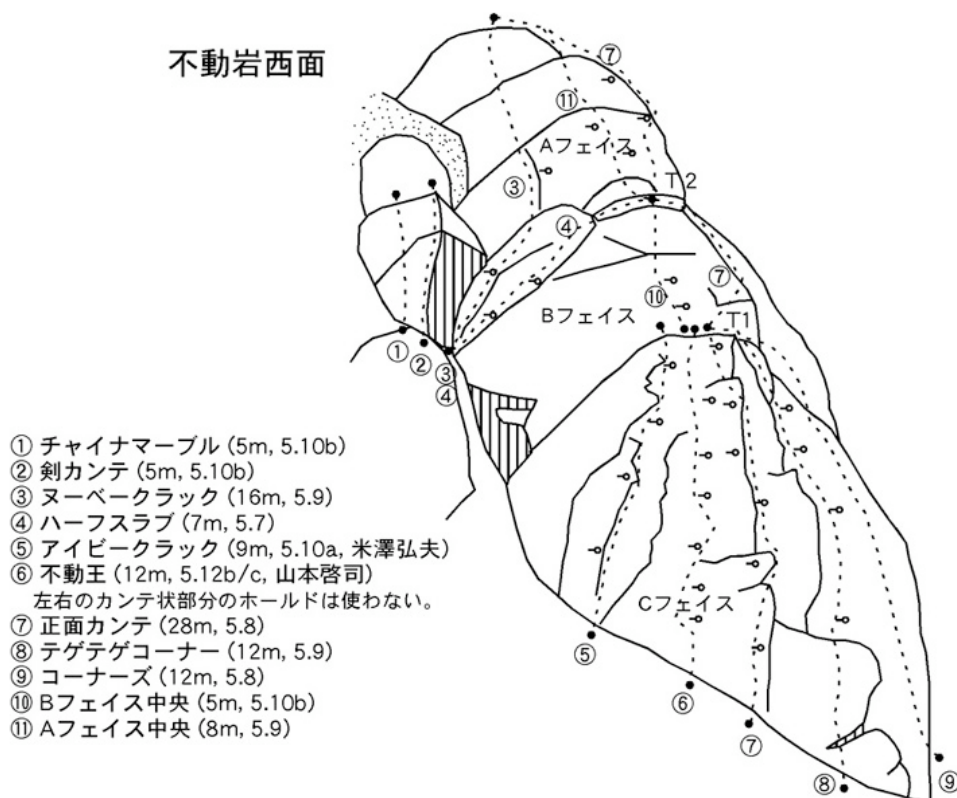
鹿児島唯一のロッククライミング情報誌（不定期発行・無料）
 カラー版をウェブで配信中 http://homepage.mac.com/hyam2/Climbing_Guide/

Rock Newsは、クライマーの役に立つ、具体的な岩場の情報をお伝えするために、編者の気が向いたときに細々と発行しています。今号は金峯山の「不動岩」をご紹介します。金峯山へのアクセスについては本誌のNo. 1を、岩場・ボルダーについてまとめた情報が必要な方は、「日本100岩場」第5巻、および「Rock & Snow」 No. 23（山と溪谷社）をご覧ください。

不動岩は金峯山の岩場で最初に開拓され、現在でも一番多くのクライマーが集まる岩です。鹿児島山岳会のメンバーによって数本のルートが拓かれ、数年間の中断を経て黒稜会の米澤が開拓に着手し、それに山本（筆者）が加わって

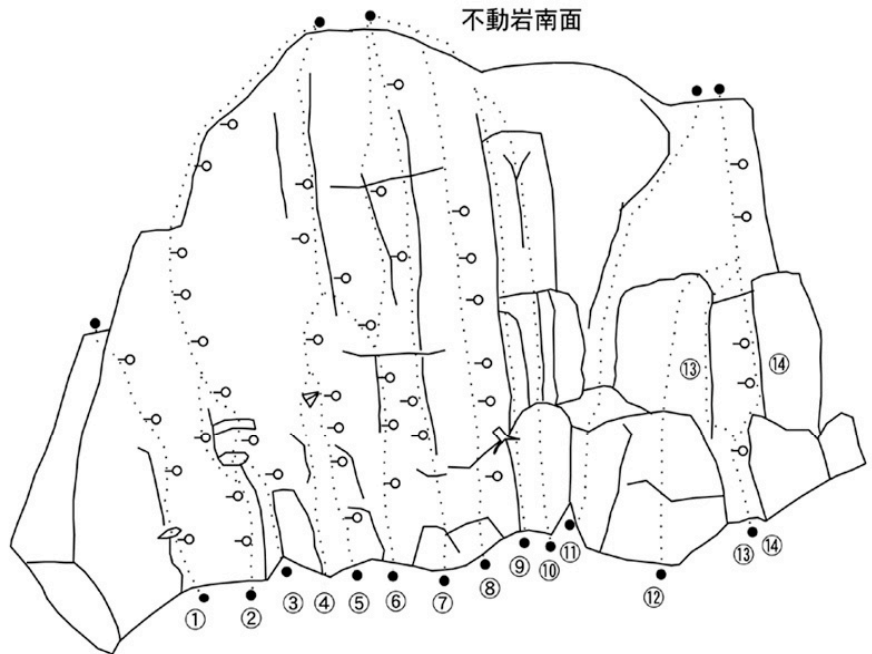


不動岩西面



90年代後半までに不動岩のほぼ全面にルートが並びました。これと平行して周辺の岩の開拓も進み、登れそうな岩には全部ルートが作られています。岩の名前は開拓時に勝手につけたものですが、ほぼ定着してしまいました。

不動岩の西面（前ページの図）は二つのバンドで区切られた三面のフェイス（下からC、B、A）と上部の緩傾斜面からできています。南面との境界は稜状になっていて「正面カンテ：5.8」というルートがあります。Cフェイスの中央部は、開拓当時の我々の実力ではホールドが全くなさそうに見え、登攀の対象外でした。小山田大さんがトップロープで試みて「登れる」ことを示してくれた後も、どうやったら登れるのか想像もつきませんでした。主な岩を登り尽くしてしまった後にCフェイスにボルトを設置し、山本がトライを始め、一年半かかって完成したのが「不動王：5.12b/c（前ページの写真）」です。その左の「アイビークラック：5.10a」を登るには、クラックの角度に合わせて身体を左右に振る動きが



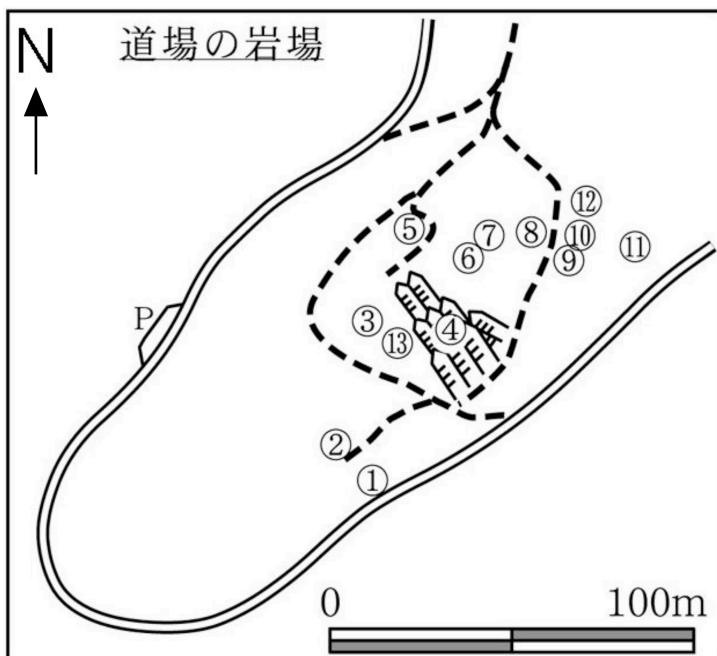
- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ① コーナーズ (12m, 5.8) | ⑧ 猫だまし (28m, 5.10b) |
| ② ガバカンテ (28m, 5.8) | ⑨ ダイレクトクラック (28m, 5.9) |
| ③ ダークチムニー (28m, 5.8) | ⑩ 三段フェイス (25m, 5.10a) |
| ④ フレッシュマン (28m, 5.8) | ⑪ ヒドゥンチムニー (25m, 5.7) |
| ⑤ オールドマン (28m, 5.8) | ⑫ デルタフェイス (25m, 5.9) |
| ⑥ フィンガークラック (28m, 5.10a) | ⑬ 浮き石クラック (25m, 5.8) |
| ⑦ センタークラック (28m, 5.10a) | ⑭ チョックストーンクラック (25m, 5.8) |



必要です。それができなくて行き詰まる人が多いようです。CフェイスからB、Aフェイスをつなげて登るときは、ロープの流れが悪いのでT1テラスでピッチを区切るのがいいでしょう。

南面には5.7から10aまでの比較的易しいルートが並んでいます。一般に下から3分の1くらいの場所の傾斜が強く、核心部もそのあたりにあります。上部は傾斜が緩く易しくなりますが、ボルト間隔が遠いのと、まれに浮き石があるので気をつけてください。高度差は20m以上あり、途中でビレイを区切ってマルチピッチの練習もできます。左の写真は「オールドマン：5.8」です。写っている人物のことではありません。ここには元々

RCCタイプのボルトが打たれていました。全部ステンレスのハンガーボルトに打ち替えたのですが、核心部の古いボルトを撤去するとき、ハンマーで一回叩いただけでポロリと落ちてしまったことをいまだに忘れられません。それ以前に、まさにそのボルトで墜落が止まった場面を見たことがあるからです。南面中央部の「フィンークラック：5.8（右の写真）」と「センタークラック：5.8」は、どちらもクラックに沿って登るのですが、使うホールドは大部分クラックの両側のフェイスにあります。その右の「猫だまし：5.10b」は、3本目のボルト付近が核心部で、そこで左右に迂回せずにまっすぐ登ろうとするとかなり難しくなります。南面の中央右寄りにある複雑な形状のフェイスは最近整備されて登れるようになりました（「ヒドゥンチムニー：5.7」など）。図にはありませんが東面の7mのフェイスにも「アンダーホールド：5.10d」というルートがあります。不動岩の頭に立つと、晴れていれば開聞岳、吹上浜、甌島などがよく見えます。



不動岩は元々人気エリアだったことに加えて、ボルダー課題が発表されてからさらに多くのクライマーが集まるようになりました。今号ではこれから問題になる可能性がある駐車の方法について検討しておきます。不動岩周辺には多いときには10台くらいの車が集まることがあります。ところが、安全に駐車できるのは、左図の「P」の位置の路側帯に4台程度、①仁王岩の下の谷側に1台（軽なら2台）で合計5-6台

にすぎません。次ページの最初の写真は、仁王岩の直下（画面左側）に1台、その谷側にも1台駐車している状態です。通行するスペースは充分にありそうですが、その先は左カーブになっていて対向車のように見えませんがよく見えません。左側（山側）または両側に駐



車するのは危険です。右側の1台だけなら問題ないでしょう。左中央の写真は仁王岩から70m程北東に進んだところの路肩に駐車している状態です。一見何の問題もなさそうですが、反対側から見ると路面の傾斜が変わっているので、対向車が来ていてもかなり接近しないと見えません（左下の写真）。さらに、その先は右カーブになっています。最近、ここに数台が縦列駐車していることがよくあります。そうすると、大坂方面に向かう車は右にはみ出した状態で先が見えない右カーブにさしかかることになるので大変危険です。

金峯山の道路は、一般の登山や神社の参拝にも使われていて、田舎道の割には交通量が多いようです。ク

ラブの行事などで多数の車が集まるときには、トラブルを避けるために神社入口（一の嶽と三の嶽の間）にある広い駐車場の利用をお勧めします。

発行：クライミングクラブ鹿児島黒稜会 (<http://www2.synapse.ne.jp/kokuryoukai/1-1.html>)

代表連絡先：三穂野善則 〒899-5656 始良郡始良町西始良2-4-9 電話：0995-65-6210

編集担当：山本啓司 電子メール：a002_hyam2@mac.com

本誌は複写自由です。複写物を再配布するときは、全ページを一括して配布してください。本誌の情報はクライミング行為の安全性を保証するものではありません。

スペシャルティコーヒーのカフェ・くらわんか

〒891-0144 鹿児島市下福元町4794-3 Tel&Fax: 099-261-3669

日曜休業 土曜日は月三回営業（クライミングウォールあります）

<http://homepage.mac.com/hyam2/kurawanka/>

